

保育所・幼稚園等

防災マニュアル作成の手引き

地震・津波編

～子どもたちの生命を守るために～



平成24年4月
高知県教育委員会

高知県防災キャラクター

©やなせたかし

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）では、特に太平洋沿岸を襲った大津波により多くの尊い命が奪われました。本年 3 月 11 日現在、約 15,800 名が亡くなり、その中には約 160 名の保育所と幼稚園の園児が含まれています。現在も約 3,200 名の方が行方不明となっており、自然災害としては戦後最も大きな人的被害となっています。

甚大な被害をもたらした東日本大震災の教訓を踏まえ、本年 3 月 31 日に内閣府の有識者検討会が「南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高について（第一次報告）」を公表しました。

この報告では、本県において、最大津波高の推計が 20 メートルを超える市町村が、沿岸部 19 市町村のうち 10 市町となっており、また、震度の推計は 34 市町村のうち 30 市町村が震度 7 の激震と衝撃的なものとなっています。

今回公表された最大津波高の推計は、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波を想定したものであり、南海トラフ沿いで次に起こる地震・津波を予測したものではなく、また、何年に何パーセントという確率を念頭に想定したものでもありません。

しかし、こうした巨大地震や津波も起こりうるという可能性があるということを率直に受け止めて、園児の生命や身体の安全を守るため、これまで以上に南海地震・津波対策の充実、強化に取り組まなければなりません。

高知県教育委員会では、平成 21 年 3 月に「高知県学校防災マニュアル（震災編）」を作成し、お示ししているところですが、今回さらに、保育所・幼稚園等向けの「保育所・幼稚園等防災マニュアル作成の手引き〈地震・津波編〉」を作成しました。

本県は、宿命である南海地震を避けて通ることはできませんが、地震・津波の想定を正確に把握し、それぞれの保育所・幼稚園等の実態に応じた地震・津波対策を講じておくことにより、その被害を最小限に止めることができます。

そのためには、日頃から、強い揺れから園児を守るための環境の整備や、安全、迅速な避難ができるための体制の確立、避難訓練の積み重ねが重要となります。是非、この「保育所・幼稚園等防災マニュアル作成の手引き〈地震・津波編〉」を参考としていただき、保育所・幼稚園等における地震・津波に関する防災マニュアルの見直し・改善に役立てていただきたいと思います。

今後とも、保育所・幼稚園等の皆様方には「園児の生命を必ず守る」という強い信念のもと、各園で南海地震・津波対策のさらなる充実、強化に取り組んでいただくことをお願いいたしますとともに、一人の園児の生命も失われることのないよう願ってやみません。

平成 24 年 4 月

高知県教育長 中澤 卓史

目次

『防災マニュアル作成の手引き』の活用にあたって	1
安全・迅速に避難するために	1
各園の実態に合った防災マニュアルづくりを！	2
防災マニュアルをチェックしましょう！	3
1 災害想定 of 把握	5
2 組織体制	7～12
(1) 防災対応組織	7
(2) 保育者等の参集基準	8
① 開所時間内の参集基準	8
② 休日・夜間等の震災時における参集基準（例）	9
③ 参集時の移動手段	9
④ 休日・夜間等の参集後の対応（例）	10
(3) 関係機関との連絡体制	11
① 緊急連絡体制（例）	11
② 防災関係機関連絡先一覧（例）	12
3 事前対応	13～27
(1) 防災教育等	13
① 園児の安全能力の育成	13
② 保育者等の災害対応能力の向上	13
③ 保護者の防災意識の向上と連携	14
(2) 避難訓練	15
① 安全計画	15
② 避難訓練年間計画	16
③ 避難訓練の充実	20
④ 避難訓練や防災マニュアルの改善	20
(3) 防災マップの作成	21
① 園内避難経路	21
② 近隣の防災マップ	22
③ 避難先一覧表（例）	24
(4) 施設の安全管理	25
(5) 備蓄物資と非常持ち出し品	26
① 備蓄物資（例）	26
② 非常持ち出し品（例）	27

4	地震発生後の対応	28～40
(1)	いろいろな保育場面等に応じた対応マニュアルの作成	28
	保育室等での対応、預かり・延長保育時の対応	29
	園庭での対応	30
	昼寝時の対応	31
	散歩時等の対応	32
	プール・水遊び中の対応	33
	通園バス乗車中の対応	34
	登園・降園中の対応	35
	休日・夜間等の対応	36
(2)	保護者への引き渡し	37
	① 保護者への引き渡し（例）	37
	② 緊急時連絡・引き渡しカード（例）	38
(3)	緊急時の通信手段	39
5	災害時における心のケア	41～44
(1)	園児の心のケア	41
(2)	保育者等の心のケア	43

〈資料編〉